

科目コード		科 目 名				担 当 教 員 名					
JJN30A		保育原理				石 川 千 穂 子					
科目区分		対象学科				対象学年	開講期間	単位数			
<専門科目>		[21] 初等教育科				2年次	後期	2			
授業概要	○保育の意義について明確な認識を持ち、その依拠する原因を理解する。また、保育を構造的に捉え、保育現場における原理と特性、環境、方法について理解する。現代における様々な保育問題についても理解を深める。さらに現代の保育制度および保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について確認、考えていく。										
	No.	到達目標				教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
到達目標	1.	保育の構造について理解することが出来る。						○			
	2.	自分子ども観・保育観を構築する。					○				
	3.	保育者（保育士・保育教諭・幼稚園教諭）の役割・子ども主体の保育について理解できるようになる。							○		
	4.										
	5.										
授業計画	No.	授 業 内 容				授業時間外学習の内容と時間					
	1.	「保育原理」で何を学ぶのか ・保育とは何かを考える。・保育の現状と課題について学ぶ。				予習：テキストを購入し保育の基盤としての子ども観について読み考えを整理する。（1時間）					
	2.	保育の制度について ・子ども子育て支援制度 ・保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の比較				保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の特徴について予習（1時間） 予習：次回の授業内容についてテキストを読んで整理しておく。（30分）					
	3.	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における共通点と相違点について				復習：3要領について振り返り共通点、相違点をまとめる。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	4.	子ども理解から出発する保育とは何かを学ぶ。 ・子どもに沿う、発達を捉える"まさざし"について思考する。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	5.	子どもが育つ環境の理解 ・物的環境と人的環境の関連を考える。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	6.	保育の専門性とは何かについて学ぶ。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	7.	「3歳児の世界」について事例研究を行い、自分が捉える子ども像について知る。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	8.	保育内容・方法について学ぶ。 ・領域について学ぶ。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	9.	子どものための保育内容について学ぶ。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	10.	子どものための保育方法について学ぶ。 ・一人一人を大事にする保育とは				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	11.	保育における計画について ・教育課程・保育課程・指導計画との関連。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
	12.	事例を基にした事例研究① ・保育の一場面から保育者の役割について考える。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）					
13.	事例を基にした事例研究② ・保育者に求められるものとは日本における保育制度の移り変わりについて学ぶ。				復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。（30分） 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。（30分）						

授業計画	14.	健康・安全と「多様な子どもと共に育つ保育」について学ぶ。	復習：本日の授業内容について振り返り自分の考えを深める。(30分) 予習：次回の授業内容部分のテキストを読み理解を深める。(30分)					
	15.	教科のまとめ ・子ども主体の保育について、保育の原理、原則を振り返る。	復習：授業内容を振り返りポイントとなる所に就いて考えを整理し、まとめる。期末試験に向けて自主学習を行う。(2時間)					
履修条件や関連する科目等	【関連する科目】 保育内容Ⅰ、保育内容Ⅱ、保育内容Ⅲ、保育内容Ⅳ、保育内容Ⅴ、保育実習1A、幼稚園観察実習、教育実習、乳児保育Ⅰ、Ⅱ							
(テキスト)	新しい保育講座① 「保育原理」渡邊英則・高嶋景子・大豆生田啓友・三谷大紀 編著 初版 ミネルウァ書房 2,200円+税							
(参考資料)	「幼稚園教育要領解説」<平成29年告示> フレーベル館 (340円+税) 「保育所保育指針解説」<平成29年告示> フレーベル館 (340円+税) 「幼保連携型認定こども園教育保育要領解説」<平成29年告示> フレーベル館 (350円+税)							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標1		20%		10%		5%	
	到達目標2		10%		5%		10%	
	到達目標3		20%		5%		5%	
	到達目標4							
	到達目標5							
評価基準等								
学習相談及び学習成果のフィードバック	・ワークシートや課題レポート等の返却については、授業で提示する。							
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	保育士資格：保育の本質・目的の理解に関する科目							
学生へのメッセージその他	「保育現場での経験を活かし、授業では具体的な保育事例等を示し具体的な思考ができるよう配慮して学んでいきます。」保育とは何か、子ども主体の保育とは何かについて様々な場面において、感じ考え続ける姿勢をもって授業に臨んでください。この授業科目は、コロナ感染拡大により遠隔授業で実施する場合があります。							
ナバリング	PED-2-01-020							

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
M4401	臨床栄養学各論		海 陸 留 美					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
栄養と健康	[21] 食物栄養科		2年次	前期	2			
授業概要	解剖生理学、医学概論・臨床医学入門、臨床栄養学総論を基盤とし、病気が発症するしくみ、病状（病態生理）、診断（臨床検査データ等）及び治療法を確認しながら、治療食と栄養食事療法のあり方や基本方針を学習する。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	傷病者の病態や栄養状態に基づいた適切な栄養管理の方法を理解することができる。		○				
	2.	各疾患の傷病者に適切な治療食と栄養食事療法を提案できるようになる。			○			
	3.							
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	オリエンテーション ○栄養障害の病態と栄養ケア 低栄養、ビタミン異常症、ミネラル異常症	予習：テキスト第1章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	2.	○代謝疾患の病態と栄養ケア 肥満症、メタボリックシンドローム	予習：テキスト第1章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	3.	○代謝疾患の病態と栄養ケア 糖尿病、脂質異常症	予習：テキスト第1章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	4.	○消化器疾患の病態と栄養ケア 胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍	予習：テキスト第3章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	5.	○消化器疾患の病態と栄養ケア 便秘症、下痢症、クローン病、潰瘍性大腸炎	予習：テキスト第3章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	6.	○消化器疾患の病態と栄養ケア 肝炎、肝硬変	予習：テキスト第4章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	7.	○消化器疾患の病態と栄養ケア 脂肪肝、アルコール性脂肪性肝疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患	予習：テキスト第4章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	8.	○消化器疾患の病態と栄養ケア 胆石症、胆のう炎、膵炎	予習：テキスト第4章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	9.	○循環器疾患の病態と栄養ケア 高血圧、動脈硬化	予習：テキスト第5章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	10.	○循環器疾患の病態と栄養ケア 虚血性心疾患、心不全	予習：テキスト第5章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	11.	○腎疾患の病態と栄養ケア 慢性腎臓病（CKD）、糸球体腎炎	予習：テキスト第6章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	12.	○腎疾患の病態と栄養ケア ネフローゼ症候群、腎不全	予習：テキスト第6章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	13.	○アレルギー疾患の病態と栄養ケア 食物アレルギーの病態	予習：テキスト第11章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	14.	○アレルギー疾患の病態と栄養ケア 食物アレルギーの栄養ケア	予習：テキスト第11章予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
	15.	○アレルギー疾患の病態と栄養ケア 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	予習：ガイドラインを予習する（1h） 復習：授業プリントを復習する（1h）→小テスト					
履修条件や関連する科目等	1年後期に履修した「解剖生理学」、「医学概論・臨床医学入門」、「臨床栄養学総論」と関連が強い							
教科書	栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編 本田佳子編 羊土社 2016年 (2,800円+税)							
参考書	プリントを授業で配布します							

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	40%	10%			5%	
	到達目標 2	30%	10%			5%	
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	(1) オフィスアワー・研究室の所在 ・水曜日：10：40～12：10、月～金曜日：16：20～17：00 ・研究室：2号館2階223番 (2) 学習成果のフィードバック ・答案、小テストの返却方法については講義内で指示します						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	栄養士資格：栄養と健康（必修科目）						
学生へのメッセージその他	<ICT活用> 授業の復習テストでmoodleを活用します。 <メッセージ> この講義で各疾患に対する食事療法を理解することも大切ですが、どうすれば患者様に食事療法を長く継続していただけるのかを考えてほしいと思います。 この授業は、遠隔授業で実施します。 <実務家教員としてのメッセージ> 大学病院で特別治療食の給食管理および入院患者に対する栄養食事指導を行った経験を活かし、授業では病態別の食事療法や栄養管理のあり方について学びます。 <その他> この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。						
ナガワ	CNU-2-02-010						

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
M4501	応用栄養学		浜 野 香 奈					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
栄養と健康	[21] 食物栄養科		2年次	前期	2			
授業概要	日本は世界でもトップクラスの長寿国です。健康寿命を延ばし、健やかな高齢期を迎えるためには、幼少期からの適切な生活習慣が大切であり、なかでも食生活は健康の維持増進に深く関与しています。生命の誕生から幼少期、思春期、成人期を経て、高齢期に至るまでのそれぞれのライフステージにおける、身体の状況や状態に応じた栄養食事管理の実践について学修します。その他に運動やスポーツ、特殊な環境下における栄養との関わりについて学びます。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	ライフステージやライフサイクルごとの適正な食事内容や、栄養摂取基準に沿った栄養の摂取を説明することができるようになる。		○	○			
	2.	特殊環境において必要とされる栄養素について、説明することができるようになる。		○		○		
	3.							
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	オリエンテーション（授業の目的や進め方、評価方法など） 応用栄養学の概念	課題：レポートの提出					
	2.	妊娠期の栄養	予習（30分）：テキストp1～15を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	3.	授乳期の栄養	予習（30分）：テキストp17～25を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	4.	乳児期の栄養	予習（30分）：テキストp27～43を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	5.	幼児期の栄養	予習（30分）：テキストp45～55を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	6.	学童期の栄養	予習（30分）：テキストp57～69を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	7.	思春期の栄養	予習（30分）：テキストp71～80を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	8.	成人期・更年期の栄養	予習（30分）：テキストp81～100を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	9.	高齢期の栄養 I 高齢期の身体の変化と食生活の特徴	予習（30分）：テキストp101～116を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	10.	高齢期の栄養 II 高齢期の疾患と食事の注意点	予習（30分）：テキストp101～116を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	11.	運動・スポーツと栄養 I 運動・スポーツの栄養の代謝について	予習（30分）：テキストp117～137を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	12.	運動・スポーツと栄養 II 運動・スポーツ時に必要とされる栄と水分管理	予習（30分）：テキストp117～137を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	13.	特殊環境下での栄養との関係 ストレスや特殊環境	予習（30分）：テキストp139～147を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	14.	授業の振り返り：アクティブラーニング（発表） 各項目ごとのまとめについて	課題：レポート提出					
15.	授業のまとめ 練習問題の解説	復習（60分）：過去の練習問題						
履修条件や関連する科目等	・栄養士免許必修科目 ・人体の構造と機能、栄養と健康							
教科書	・はじめて学ぶ 健康・栄養系教科書シリーズ⑥「応用栄養学」～適切な食生活を実践するための基礎～ 化学同人 奥田あかり・上山恵子 他著（2,100円＋税） ・日本人の食事摂取基準2020年版 第一出版 菱田明、佐々木敏監修（2,600円＋税）							
参考書								

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	30%	10%			10%	
	到達目標 2	30%	10%			10%	
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に学修内容とテキストの範囲を示しています。予習を行って授業に臨んで下さい。 ・ 練習問題をよく理解し、復習を行ってください。 ・ 授業内容のまとめを発表形式で行います。グループワークになりますので協力して行ってください。課題や質問にはオフィスアワーで対応します。月～金：16：10～17：00。（研究室 2 号館 2 階222号室） 						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	栄養士免許取得資格：栄養と健康（必修科目）						
学生へのメッセージその他	<p><メッセージ> 人は毎日食事をすることで必要なエネルギーや栄養素を体に摂り入れています。食生活のあり方や内容が時代の流れとともに多様化していくなかで、栄養士は対象者の状態を把握し、適切な栄養食事管理を行うことが求められます。ライフステージに沿った成長の状態や身体変化を学び、幅広い年齢層の対象者に応用できる栄養学の知識を身につけてください。 この授業は遠隔授業で実施される可能性があります。</p> <p><実務家教員としてのメッセージ> 皆さんが修得する栄養や食事の知識は、栄養士として接する対象者の適切な栄養食事管理に欠かせないものである他に、皆さん自身や周囲の人に対する健康管理にも役立つ力となるでしょう。</p>						
ナカワ	APN-2-01-010						

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
M4502	応用栄養学		浜 野 香 奈					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
栄養と健康	[21] 食物栄養科		2年次	前期	2			
授業概要	<p>日本は世界でもトップクラスの長寿国です。健康寿命を延ばし、健やかな高齢期を迎えるためには、幼少期からの適切な生活習慣が大切であり、なかでも食生活は健康の維持増進に深く関与しています。生命の誕生から幼少期、思春期、成人期を経て、高齢期に至るまでのそれぞれのライフステージにおける、身体の状況や状態に応じた栄養食事管理の実践について学修します。その他に運動やスポーツ、特殊な環境下における栄養との関わりについて学びます。</p>							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	ライフステージやライフサイクルごとの適正な食事内容や、栄養摂取基準に沿った栄養の摂取を説明することができるようになる。		○	○			
	2.	特殊環境において必要とされる栄養素について、説明することができるようになる。		○		○		
	3.							
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	オリエンテーション（授業の目的や進め方、評価方法など） 応用栄養学の概念	課題：レポートの提出					
	2.	妊娠期の栄養	予習（30分）：テキストp1～15を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	3.	授乳期の栄養	予習（30分）：テキストp17～25を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	4.	乳児期の栄養	予習（30分）：テキストp27～43を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	5.	幼児期の栄養	予習（30分）：テキストp45～55を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	6.	学童期の栄養	予習（30分）：テキストp57～69を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	7.	思春期の栄養	予習（30分）：テキストp71～80を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	8.	成人期・更年期の栄養	予習（30分）：テキストp81～100を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	9.	高齢期の栄養 I 高齢期の身体の変化と食生活の特徴	予習（30分）：テキストp101～116を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	10.	高齢期の栄養 II 高齢期の疾患と食事の注意点	予習（30分）：テキストp101～116を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	11.	運動・スポーツと栄養 I 運動・スポーツの栄養の代謝について	予習（30分）：テキストp117～137を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	12.	運動・スポーツと栄養 II 運動・スポーツ時に必要とされる栄と水分管理	予習（30分）：テキストp117～137を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	13.	特殊環境下での栄養との関係 ストレスや特殊環境	予習（30分）：テキストp139～147を読む 復習（30分）：練習問題の理解					
	14.	授業の振り返り：アクティブラーニング（発表） 各項目ごとのまとめについて	課題：レポート提出					
15.	授業のまとめ 練習問題の解説	復習（60分）：過去の練習問題						
履修条件や関連する科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士免許必修科目 ・人体の構造と機能、栄養と健康 							
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて学ぶ 健康・栄養系教科書シリーズ⑥「応用栄養学」～適切な食生活を実践するための基礎～ 化学同人 奥田あかり・上山恵子 他著（2,100円+税） ・日本人の食事摂取基準2020年版 第一出版 菱田明、佐々木敏監修（2,600円+税） 							
参考書								

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	30%	10%			10%	
	到達目標 2	30%	10%			10%	
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に学修内容とテキストの範囲を示しています。予習を行って授業に臨んで下さい。 ・ 練習問題をよく理解し、復習を行ってください。 ・ 授業内容のまとめを発表形式で行います。グループワークになりますので協力して行ってください。課題や質問にはオフィスアワーで対応します。月～金：16：10～17：00。（研究室 2 号館 2 階222号室） 						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	栄養士免許取得資格：栄養と健康（必修科目）						
学生へのメッセージその他	<p><メッセージ> 人は毎日食事をすることで必要なエネルギーや栄養素を体に摂り入れています。食生活のあり方や内容が時代の流れとともに多様化していくなかで、栄養士は対象者の状態を把握し、適切な栄養食事管理を行うことが求められます。ライフステージに沿った成長の状態や身体変化を学び、幅広い年齢層の対象者に応用できる栄養学の知識を身につけてください。 この授業は遠隔授業で実施される可能性があります。</p> <p><実務家教員としてのメッセージ> 皆さんが修得する栄養や食事の知識は、栄養士として接する対象者の適切な栄養食事管理に欠かせないものである他に、皆さん自身や周囲の人に対する健康管理にも役立つ力となるでしょう。</p>						
ナカワ	APN-2-01-010						

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
98211	言葉と児童文化		渡 邊 輝 美					
科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数				
<専門科目>	[21] 専攻科 初等教育専攻	1 年次	後期	2				
授業概要	幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。本授業における「児童文化」とは、子どもをとりまく「環境」そのものであり、子どもの生活の中心である「遊び」そのものであると考える。その中でも「言葉」との関連が深くかつ乳幼児の教育・保育現場で用いられることが多い、「児童文化財」である絵本、ペープサート、紙芝居や玩具・遊具、そして伝承遊びを取り上げ、実際の教育・保育実践の中での活用について考察していく。視聴覚教材や教育・保育現場での観察など体験的な学びの機会を設けて、教育・保育現場での実践に生かせることを目指す。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解することができる。		○				
	2.	幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けている。			○			
	3.	領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、児童文化財を生かした指導案を作成して、模擬保育を実践することができる。				○		
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	幼稚園教育要領における領域「言葉」	予習：教科書の熟読 (30分)					
	2.	領域「言葉」における児童文化とは何か	予習：教科書の熟読 (30分)					
	3.	子どもにとっての遊びとその伝承性	予習：教科書の熟読 (30分)					
	4.	保育の歴史と児童文化	予習：教科書の熟読 (30分)					
	5.	家庭や集団保育における児童文化財の活用	予習：教科書の熟読 (30分)					
	6.	子どもの発達と児童文化財	児童文化財の練習 (1時間)					
	7.	保育実践の評価と記録	児童文化財の練習 (1時間)					
	8.	児童文化財の保育への展開～絵本・紙芝居	児童文化財の練習 (1時間)					
	9.	児童文化財の保育への展開～ペープサート・エプロンシアター	児童文化財の練習 (1時間)					
	10.	児童文化財の保育への展開～ICTの活用	児童文化財発表の練習 (1時間)					
	11.	児童文化財の保育への展開～指導案作成	児童文化財発表の練習 (1時間)					
	12.	児童文化財の保育への展開～模擬保育①発表	児童文化財発表の練習 (1時間)					
	13.	児童文化財の保育への展開～模擬保育②発表	児童文化財発表の練習 (1時間)					
	14.	児童文化財の保育への展開～模擬保育③発表の振り返り・評価	期末レポートの作成 (3時間)					
15.	教科のまとめ 期末試験 <Moodle画面によるオンデマンド授業実施も有(1～15回)>	期末レポートの作成 (3時間)						
履修条件や関連する科目等	初等教育科1年次「保育内容Ⅳ」「言語表現」を履修しておくことが望ましい。							
教科書(テキスト)	<ul style="list-style-type: none"> ことばと表現力を育む児童文化(萌文書林:2,000円) 幼稚園教育要領(平成29年3月 文部科学省) 							
(授業資料)参考書	<ul style="list-style-type: none"> 演習児童文化-保育内容としての実践と展開(萌文書林) 参考資料等・保育に役立つ言語表現教材(みらい) 児童文化と保育-こころ豊かな文化を育むために(宮帯出版社) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省) 保育に役立つ言語表現教材(未来:1,900円)児童文化と保育(宮帯出版社:1,430円) 							
評価方法	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他	
	到達目標1	50%		10%		10%		
	到達目標2			10%	5%	10%		
	到達目標3				5%			
	到達目標4							
	到達目標5							

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスアワー時に研究室にて学習相談の対応をします。 ・ 成績発表時にレポートを返却します。 ・ 児童文化財の発表については、「ペープサート」または「エプロンシアター」から題材の一つを選び、模擬保育の形で発表してもらいます。
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	幼稚園免許選択：教職に関する科目「教育課程及び指導法に関する科目」「保育内容指導法」
学生へのメッセージその他	<p>絵本、ペープサート、紙芝居や玩具・遊具、そして伝承遊びなど、実際の教育・保育実践の中での「児童文化財」を活用できる力をつけましょう。環境の一つである「児童文化財」を通して、子どもの豊かな育ちが促される保育を目指して実践力をつけましょう。教材研究の方法・読み聞かせなどの技術、また教材の制作方法など、保育現場ですぐに役に立つ授業です。たくさん学びましょう。</p> <p>長年にわたり幼稚園に勤務した経験を活かし、保育現場で役に立つ「子ども理解」「年齢に適した発達を促す援助や環境構成」「子どもの興味や意欲を高める保育技術」について、実際の場面や姿をもとに学んでいきます。保育に活かせる学習をしましょう。この授業科目は、新型コロナウイルスの感染状況によっては遠隔授業で実施します。</p>
ナバリン	ECE-4-04-030

科目コード		科 目 名			担 当 教 員 名			
JJ110A		国語（書写を含む）			古 川 元 視			
科目区分		対象学科			対象学年	開講期間	単位数	
<専門科目>		[22] 初等教育科			1 年次	後期	2	
授業概要	<p>小学校国語科学学習指導要領について学ぶ。また、小学校国語科の教材に関連した専門的知識・技能を身に付ける。アクティブ・ラーニング型授業を行う。遠隔授業をmoodle（期間を決めて）やZOOM（オンタイムで）を用いて実施する場合は、事前にメールで連絡する。</p>							
	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
到達目標	1.	小学校学習指導要領及び幼稚園要領などを理解している。		○				
	2.	読書感想文やポップを書くことができる。		○				
	3.	学科紹介のビデオを作ることができる。					○	
	4.	書写の実技を行うことができる。					○	
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	大学図書館で物語のシリーズを読み、特徴をまとめる。	復習：シリーズを読む。（1時間）					
	2.	科学読み物を読んで、読書感想文を書く。（アクティブ・ラーニング）	復習：読書感想文を書く。（1時間）					
	3.	科学読み物の読書感想文の書き方を理解する。（アクティブ・ラーニング）	復習：読書感想文の書き方を復習する。（1時間）					
	4.	科学読み物の読書感想文を推敲し、清書する。（アクティブ・ラーニング）	復習：読書感想文を清書する（1時間）					
	5.	読書感想文の書き方についてのポイントシートを考える。（アクティブ・ラーニング）	復習：下書きを完成する。（1時間）					
	6.	読書感想文の書き方についてのポイントシートを完成させる。（アクティブ・ラーニング）	復習：ポイントシートを完成する。（1時間）					
	7.	学科紹介のビデオ作りのコンセプトや構成を考える。（アクティブ・ラーニング）	復習：コンセプトや構成を完成する。（1時間）					
	8.	学科紹介のビデオ作りの取材をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：取材をする。（1時間）					
	9.	学科紹介のビデオ作りの再取材をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：取材を完成する。（1時間）					
	10.	学科紹介のビデオ作りの編集をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：編集をする。（1時間）					
	11.	学科紹介ビデオ作りの中間発表会をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：再編集をする。（1時間）					
	12.	学科紹介ビデオの修正をして完成をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：ビデオを完成する。（1時間）					
	13.	学科紹介オビデオの完成発表会をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：ビデオを完成する。（2時間）					
	14.	書写実技（硬筆）をする。	復習：硬筆の清書をする。（1時間）					
15.	指導要領を確認して、今までのワークシートや言語活動を振り返り、身に付いた力を確認する。	復習：今までのワークシートなどを整理する。（1時間）						
履修条件や関連する科目等	特になし							
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領（平成29年度告示）文部科学省、217円+税 ・小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編（文部科学省：東洋館出版社）平成30年、162円+税 ・読書活動でアクティブに読む力を育てる！小学校国語科言語活動アイデア&ワーク（井上一郎編／古川元視著：明治図書）、2015年、2260円+税 ・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント&シート 1読むこと、2「書くこと、話すこと・聞くこと（井上一郎著：明治図書）、2021年、2360円+税 							
（参考書）	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングをサポートする!学校図書館活用プロジェクト掲示ポスター &ポイントシート事典（井上一郎編著/古川元視著：明治図書）、2017年、2,860円+税 ・思考力・読解力アップの新空間!学校図書館改造プロジェクト 図書館フル活用の教科別授業アイデア20（井上一郎編著：明治図書）2013年、2400円+税 ・誰もがつけたい説明力（井上一郎著：明治図書）、2005年、2,160円+税 ・読解力を育てる！小学校国語 定番教材の発問モデル 物語文編/説明文編（井上一郎編著：明治図書）2015年、2,460円+税 							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1						10%	
	到達目標 2				20%		10%	
	到達目標 3				30%	10%	10%	
	到達目標 4				5%		5%	
到達目標 5								

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業相談はオフィスアワー（詳細には後日連絡する）で受ける。（24号館 5階509研究室） ・ 課題・レポートは授業の中で返却する。
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	<p>教科に関する専門的事項</p>
学生へのメッセージその他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語科はすべての教科の基盤となる重要な教科であり，育成すべき言語能力をよく理解するとともに，自らもその言語能力を習得するように努めること。 ・ 教育現場で国語の授業を行ったり，指導したりしてきたことを活かし，授業では具体的な事例を交えて講義をする。 ・ 遅刻，授業中の私語，飲食，携帯メール等は一切認めない。 ・ 欠席は必ず連絡すること。 ・ 提出物や資料等は必ず提出して保管すること。 ・ この授業科目は，遠隔授業の可能性はある。
ナパワグ	SUP-1-02-020

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
JJ110C	国語（書写を含む）		古 川 元 視					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
<専門科目>	[22] 初等教育科		1年次	前期	2			
授業概要	小学校国語科学習指導要領や幼稚園要領などの目標や内容について学び、小学校国語科の教材に関連した専門的知識・技能を身に付ける。アクティブ・ラーニング型授業を行う。遠隔授業をmoodle（期間を決めて）やZOOM（オンタイムで）を用いて実施する場合は、事前にメールで連絡する。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	小学校学習指導要領及び幼稚園要領などを理解している。		○				
	2.	小学校国語の主な言語活動を行うことができる。		○				
	3.	書写の実技を行うことができる。					○	
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	大学図書館で、昔話・民話を探し、読む。(アクティブ・ラーニング)	復習：昔話・民話を読む。(1時間)					
	2.	昔話・民話の特徴をまとめる。(アクティブ・ラーニング)	復習：昔話・民話の特徴をまとめる。(1時間)					
	3.	大学図書館でシリーズを読む。(アクティブ・ラーニング)	復習：大学図書館でシリーズを読む。(1時間)					
	4.	シリーズの特徴をまとめる。(アクティブ・ラーニング)	復習：シリーズの特徴をまとめる。(1時間)					
	5.	シリーズのポップ(言語活動)の作り方を理解する。(アクティブ・ラーニング)	復習：ポップを構想をする。(1時間)					
	6.	ポップを完成する。(アクティブ・ラーニング)	復習：ポップを完成する。(1時間)					
	7.	紙芝居の役割を理解し、読む練習をする。(アクティブ・ラーニング)	復習：紙芝居の練習をする。(1時間)					
	8.	スピーチの原稿を書く。(アクティブ・ラーニング)	復習：原稿を完成する。(1時間)					
	9.	スピーチ原稿に書き換える。(アクティブ・ラーニング)	復習：スピーチ原稿を完成する。(1時間)					
	10.	季節に合った図鑑や科学読み物を読む。(アクティブ・ラーニング)	復習：図鑑を読む。(1時間)					
	11.	作者にこだわって絵本を読む。(アクティブ・ラーニング)	復習：別の作者の絵本を読む。(1時間)					
	12.	いろいろなジャンルの絵本を読む。(アクティブ・ラーニング)	復習：読んでいないジャンルの絵本を読む。(1時間)					
	13.	本の旅をする。(アクティブ・ラーニング)	復習：本の旅をする。(1時間)					
	14.	依頼文の書き方を理解し、依頼文を書く。	復習：依頼文の清書をする。(1時間)					
15.	書写の実技をする。ワークシートや評価票などを基に、どんな力が付いたのか振り返る。(グループワーク)	予習：今までのワークシートを整理する。(1時間)						
履修条件や関連する科目等	特になし							
(テキスト)	プリントを授業内に配布する。							
(授業資料)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領解説(国語) ・幼稚園要領 ・アクティブ・ラーニングをサポートする! 学校図書館活用プロジェクト 掲示ポスター & ポイントシート事典(井上一郎編著/古川元視著: 明治図書), 2017年, 2,860円+税 ・思考力・読解力アップの新空間! 学校図書館改造プロジェクト 図書館フル活用の教科別授業アイデア20(井上一郎編著: 明治図書) 2013年, 2,400円+税 ・短時間で効果抜群! 70のアレンジを収録! 小学校国語科 話すこと・聞くことのエクササイズ70(井上一郎著者: 明治図書), 2019年, 2,060円+税 							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1						10%	
	到達目標 2				60%		10%	
	到達目標 3				10%		10%	
	到達目標 4							
	到達目標 5							

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業相談はオフィスアワー（詳細には後日連絡する）で受ける。（24号館 5 階509研究室） ・ 課題・レポートは授業の中で返却
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	<p>教科に関する専門的事項</p>
学生へのメッセージその他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語科はすべての教科の基盤となる重要な教科であり，育成すべき言語能力をよく理解するとともに，自らもその言語能力を習得するように努めること。 ・ 教育現場で国語の授業を行ったり，指導したりしてきたことを活かし，授業では具体的な事例を交えて講義をする。 ・ 遅刻，授業中の私語，飲食，携帯メール等は一切認めない。 ・ 欠席は必ず連絡すること。 ・ 提出物や資料等は必ず提出して保管すること。 ・ この授業は，遠隔授業の可能性がある。
ナパワグ	SUP-1-02-020

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
JJ310C	教職概論		工 藤 豊 文					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
<専門科目>	[22] 初等教育科		1年次	前期	2			
授業概要	○現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解するとともに、学校や教育行政機関を経営の観点から理解し、学校と地域との連携・協働、学校安全の取り組みについて理解する。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解するとともに、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。		○				
	2.	教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解するとともに、学校が内外の専門家と連携・分担する必要性について理解する。		○				
	3.	社会の状況を理解しその変化が学校教育にもたらす影響と教育政策の動向を理解するとともに、現代公教育制度の基礎的知識と内在する課題を理解する。		○				
	4.	学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の観点から理解する。		○				
	5.	学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について理解するとともに、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。		○				
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	教育の意義 ～教育の理念と目的	復習課題（1時間）					
	2.	教職の意義（1）教職の職業的特徴	復習課題（1時間）					
	3.	教職の意義（2）今日の教員に求められる資質能力とは	復習課題（1時間）					
	4.	教師の職務内容（1）学習指導要領	復習課題（1時間）					
	5.	教師の職務内容（2）教育課程	復習課題					
	6.	学習指導外の職務・研修について	復習課題（1時間）					
	7.	学校組織体制と職務（芯の通った学校組織）	復習課題（1時間）					
	8.	チーム学校運営としての教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方	復習課題（1時間）					
	9.	日本と諸外国の教育政策について	復習課題（1時間）					
	10.	教職と教育法規との関連（1）教育法規関連	復習課題（1時間）					
	11.	教職と教育法規との関連（2）日本国憲法、教育基本法、学校教育法の解釈	復習課題（1時間）					
	12.	学校教育のPDCAサイクル	復習課題（1時間）					
	13.	地域との連携を基とする開かれた学校づくり	復習課題（1時間）					
	14.	学校における安全管理及び安全教育の実践	復習課題（1時間）					
15.	まとめ ～今、求められる教師像	復習課題（1時間）						
履修条件や関連する科目等	特になし							
教科書	プリントを講義中に配付する。							
参考書	特になし							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標1		12%	2%	2%		4%	
	到達目標2		12%	2%	2%		4%	
	到達目標3		12%	2%	2%		4%	
	到達目標4		12%	2%	2%		4%	
	到達目標5		12%	2%	2%		4%	

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<p>オフィスアワー 月曜日13:00~14:30 火曜日13:00~14:30) 24号館513研究室 学習成果のフィードバック 期末試験の答案返却の方法・日時については、講義内で指示する 小テストは実施の次の授業で、課題は提出した次の授業で返却コメントする。</p>
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	<p>小学校免許 「教育の基礎理論に関する科目」「教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）」</p>
学生へのメッセージその他	<p>教育現場での多様な経験を活かし、授業では具体例を交えて教職の意義、教師の職務内容などを学んでいきます。 なお、この授業は新型コロナウイルスの感染状況によっては遠隔授業になる場合があります。</p>
ナビゲーション	DID-1-01-020

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
JJ510A	教育原理		高 橋 俊 二					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
<専門科目>	[22] 初等教育科		1 年次	後期	2			
授業概要	教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたかを理解する。(グループワーク、グループディスカッション)							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因の関係を理解することができる。		○				
	2.	教育の歴史に関する基礎知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解することができる。		○				
	3.	教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解することができる。			○			
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	講義の概要説明：「教育原理」学習の目的と授業計画（教育とは何か）						
	2.	教育の意義と目的：教育の意味と教育の目的（人間とは何か）	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	3.	教育の制度上の規定：「日本国憲法」「教育基本法」等	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	4.	教育の役割：人間形成と学校・家庭・地域社会の関連性	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	5.	教育の思想と歴史の変遷（1）諸外国の教育思想史	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	6.	教育の思想と歴史の変遷（2）諸外国の教育思想史	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	7.	教育の思想と歴史の変遷（3）日本の教育思想史	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	8.	教育の思想と歴史の変遷（4）日本の教育思想史	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	9.	教育の制度：学校制度、教育法規、教育制度	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	10.	教育内容と教育課程：教育内容の構成、教育課程と計画	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	11.	教育の実践（1）：教育方法、評価、教育実践の多様な取り組み	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	12.	教育の実践（2）：教育実践の多様な取り組み	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	13.	現在社会と教育課題：問題行動、不登校、いじめ、虐待等	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	14.	現代社会と教育課題：学力・体力の向上、豊かな心の育成等	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	15.	まとめ：今、求められる教師像	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
履修条件や関連する科目等	特になし							
教科書	プリントを授業の時に配付する。							
参考資料	特になし							

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	20%		10%			
	到達目標 2	20%		10%		10%	
	到達目標 3	20%				10%	
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<p>○答案・レポートは成績発表後のオフィスアワーに研究室で返却する。 ○オフィスアワー月曜日・金曜日の16:20～ 研究室 23号館3階</p>						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	幼稚園・小学校二種免許状取得のための必修科目：教育の基礎理論に関する科目						
学生へのメッセージその他	<p>毎回の授業で課題を出します。しっかりと授業に集中すること。 小学校教員・指導主事の経験を活かし、授業では、教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学びます。</p>						
ナガワシ	PED-1-01-020						

科目コード		科 目 名				担 当 教 員 名			
JJ710A		教育課程論				古 川 元 視			
科目区分		対象学科				対象学年	開講期間	単位数	
<専門科目>		[22] 初等教育科				1 年次	後期	2	
授業概要	<p>小学校学習指導要領等の内容を基準として、教育課程の意義と教育実践に即した編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。アクティブ・ラーニング型授業を行う。遠隔授業をmoodle（期間を決めて）やZOOM（オンタイムで）を用いて実施する場合は、事前にメールで連絡する。</p>								
	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力	
到達目標	1.	学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。		○					
	2.	教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。		○					
	3.	教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。			○				
	4.								
	5.								
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間						
	1.	小学校学習指導要領の変遷と前文について（アクティブ・ラーニング）	復習：学習指導要領を読む。（1時間）						
	2.	小学校学習指導要領の総則について（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校学習指導要領解説総則編を分析する。（1時間）						
	3.	小学校学習指導要領に関する法律について（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校学習指導要領解説総則編を分析する。（1時間）						
	4.	小学校教育課程の分析（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校教育課程を分析する。（1時間）						
	5.	外国の教育課程の分析（アクティブ・ラーニング）	予習：外国の教育課程を調べる。（1時間）						
	6.	小学校の年間指導計画の分析（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校の年間指導計画を分析する。（1時間）						
	7.	小学校の年間指導計画のまとめ（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校の年間指導計画を分析し、まとめる。（1時間）						
	8.	小学校の学習指導案（道徳科）の分析（アクティブ・ラーニング）	予習：道徳科学習指導案を分析する。（1時間）						
	9.	小学校の総合的な学習の時間の指導案の分析（アクティブ・ラーニング）	予習：総合的な学習の時間の学習指導案を分析する。（1時間）						
	10.	小学校の総合的な学習の時間の指導案の作成のポイント（アクティブ・ラーニング）	予習：総合的な学習の時間の学習指導案を分析する。（1時間）						
	11.	小学校の1単位時間の授業の進め方の分析（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校学習指導案を分析する。（1時間）						
	12.	小学校の1単位時間の授業の進め方のまとめ（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校学習指導案を分析・まとめる。（1時間）						
	13.	小学校学習指導要領の内容の確認（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校学習指導要領解説総則編を読む。（1時間）						
	14.	カリキュラム・マネジメントの必要性（アクティブ・ラーニング）	予習：小学校学習指導要領解説総則編を読む。（1時間）						
15.	小学校教育課程のまとめと振り返り	復習：小学校学習指導要領解説総則編を読む。（1時間）							
履修条件や関連する科目等	特になし								
（テキスト）	・小学校学習指導要領（平成29年7月 文部科学省）201円+税								
（参考書）	とくになし								

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取り組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1			20%		10%	
	到達目標 2			30%		10%	
	到達目標 3			20%		10%	
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	・オフィスアワーは後日連絡をする。						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	幼稚園・小学校教員の二種免許取得のための必修科目：教育の基礎的理解に関する科目						
学生へのメッセージその他	教育課程は学校教育の中核をなすものであるため、積極的に学ぶことを期待する。 小学校教員・指導主事の経験を活かし、できるだけ実践を基に、分析させて学ばせる。 遠隔授業の可能性がります。						
ナカソノ	DID-9-01-010						

科目コード		科 目 名				担 当 教 員 名			
JJ710D		教育課程論				三 宮 知 恭			
科目区分		対象学科				対象学年	開講期間	単位数	
<専門科目>		[22] 初等教育科				1 年次	前期	2	
授業概要	小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の内容を基準として、教育課程の意義と教育実践に即した編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。								
	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力	
到達目標	1.	学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。		○					
	2.	教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。			○				
	3.	教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。		○					
	4.								
	5.								
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間						
	1.	教育課程とは何か 教育関係法規の歴史や内容から	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	2.	教育課程を編成するにあたり必要なことを理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	3.	何故、教育課程を編成する必要があるのか理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	4.	平成29年告示の教育・保育に関わる法規の改訂の主旨を理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	5.	学習指導要領のねらい（総則を中心に）を理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	6.	幼稚園教育要領の改訂や内容について理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	7.	保育所保育指針の改訂やその内容について理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	8.	認定こども園教育・保育要領について、その内容について理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	9.	幼稚園・保育所・認定こども園で求められている「育てたい10の姿」について理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	10.	幼児教育から小学校教育へのつながりを理解する アプローチ・カリキュラム、スタート・カリキュラム	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	11.	地域や保護者との連携のあり方について考えを深め、広げる	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	12.	教育課程（指導計画）作成の具体的方法について知る。 年間計画、中期計画、月案、週案、日案について	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	13.	指導計画（保育計画）の日案を考える。	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	14.	防災教育など教育現場に求められている様々な分野の教育課程（計画）について、理解する	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
	15.	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性、まとめ	テキストやプリントを熟読する (0.5 h)						
履修条件や関連する科目等	学校教育要領、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領や教育関係法規に関する科目								
（テキスト）	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省） ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省） 								
（参考資料）	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程・教育課程総論（ミネルヴァ書房） ・その他、必要に応じて紹介する。 								
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発 表	授業の取組み姿勢	その他	
	到達目標 1			10%	20%		10%		
	到達目標 2			10%	20%		10%		
	到達目標 3				10%		10%		
	到達目標 4								
	到達目標 5								

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー（研究室422） ・オンデマンドでの質問は随時受けます。（メール等） ・期末試験の返却については、授業で提示します。
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	免許資格関連：教職（小幼）幼稚園免許・保育士資格 必修科目。卒業必修科目。
学生へのメッセージその他	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたる教育現場における様々な経験を活かし、教育課程の意義、教育マネジメントを行う意義等について講義を行います。 ・自分が小学校や幼稚園の教諭になったときのことをイメージして積極的に授業に臨むこと。 ・遠隔授業になる場合もあります。その場合は、「オンデマンド授業」として、moodle上に読み物や動画の学修資料を用意し、それに対する課題シートに解答・回答し、提出することになります。
ナグリング	DID-1-05-020

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
JJ710E	教育課程論		大 田 亜 紀					
科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数				
<専門科目>	[22] 初等教育科	1 年次	後期	2				
授業概要	教育課程とは、「幼児教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を幼児の心身の発達に応じ、保育時間数との関連において総合的に組織した保育所や幼稚園の教育計画」である。本講義は、幼稚園教育要領や保育所保育指針等の内容を基準として、教育課程の意義と編成の方法を理解する。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	保育所や幼稚園の教育課程の編成原理について理解している。		○				
	2.	教育課程の意義について理解している。		○				
	3.	長期の指導計画や短期の指導計画を作成できる。			○			
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	幼稚園教育要領の内容と改訂について	幼稚園教育要領の内容に復習する。(60分)					
	2.	幼児教育において育みたい資質と能力	幼児教育において育みたい資質と能力をまとめる。(60分)					
	3.	幼稚園教育課程の意義と役割	幼稚園教育課程の意義と役割をまとめる。(60分)					
	4.	幼稚園教育課程の編成	幼稚園教育課程の編成についてまとめる。(60分)					
	5.	教育課程に関わる指導計画の種類	教育課程に関わる指導計画の種類についてまとめる。(60分)					
	6.	教育課程に関わる指導計画の役割	教育課程に関わる指導計画の役割についてまとめる。(60分)					
	7.	個別の指導計画の作成について	個別の指導計画の作成方法についてまとめる。(60分)					
	8.	保育における計画の考え方	保育における計画の考え方についてまとめる。(60分)					
	9.	小学校における計画との接続	小学校における計画との接続についてまとめる。(60分)					
	10.	明治期から大正期の保育内容の編成と計画	明治期から大正期の保育内容の編成と計画についてまとめる。(60分)					
	11.	戦後から平成元年の幼稚園教育要領の改訂	戦後から平成元年の幼稚園教育要領の改訂についてまとめる。(60分)					
	12.	子どもの主体活動を生かす平成10年の改訂から	子どもの主体活動を生かす平成10年の改訂からをまとめる。(60分)					
	13.	長期の指導計画や短期の指導計画の修正の実際	長期の指導計画や短期の指導計画の修正の実際をまとめる。(60分)					
	14.	教育課程の見直し	教育課程の見直しをまとめる。(60分)					
15.	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性をまとめる。(60分)						
履修条件や関連する科目等	関連の深い科目は、「教職概論」「教育原理」「幼児教育課程論」							
(テキスト)	幼稚園教育要領 (文部科学省) 保育所保育指針 (厚生労働省)							
(授業資料)	保育課程・教育課程総論 (ミネルヴァ書房)							

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	40%					
	到達目標 2					20%	
	到達目標 3			30%		10%	
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<p>オフィスアワー：月、木 14：40-16：10 課題、レポート等については、授業内で指示します。</p>						
法令等に定められた授業科目に含まれる必要事項	<p>幼稚園免許・保育士免許：「教育課程及び指導法に関する科目」</p>						
学生へのメッセージその他	<p>長年にわたる教育現場における様々な経験を活かし、教育課程の意義と編成の方法に関する講義を行います。 遅刻、早退、授業中の私語、飲食、携帯メール等は、一切認めません。 やむを得ない事情による欠席等は、必ず連絡すること。 ※毎回の授業最後に moodle 内で振り返りの記入があります。(PC,スマホ等使用) 授業内で指示します。 ※附属幼稚園訪問予定→新型コロナウイルス感染症の状況を確認して実施検討 ※この授業科目は、感染症の状況により遠隔授業実施の想定</p>						
ナカウチ	DID-1-05-020						

科目コード		科 目 名			担 当 教 員 名			
M7701		学校栄養指導論			伊 藤 京 子			
科目区分		対象学科			対象学年	開講期間	単位数	
関連科目		[22] 食物栄養科			1 年次	後期	2	
授業概要	児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ることができる食に関する資質・能力を身につけるためには、学校、地域、家庭が連携を図り、学校教育活動全体を通して食に関する指導を実践していく必要があることを理解する。また、学校給食の栄養・衛生管理、食に関する指導について、具体例を通して学ぶ。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	学校給食の意義や役割、栄養教諭の職務内容を理解する。		○				
	2.	学校給食を活用した食に関する指導の実践力を身につける。					○	
	3.	学校・地域・家庭が連携を図った食に関する指導について理解する。						○
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	栄養教諭の使命や職務内容、学校給食の歴史と意義役割（含各種法律等）	講義に関する項目の部分の教科書の復習と次回の子習。（1h）					
	2.	食文化の変遷と児童生徒の現状 学校給食の栄養管理と衛生管理について	講義に関する項目の部分の教科書の復習と次回の子習。（1h）					
	3.	学校給食の献立作成について（各種基準、年間計画、地場産物、教科との関連、各種行事等を踏まえた献立作成）	学校給食関連のマニュアルの確認と地域の学校給食の献立についての調べ学習。（1h）					
	4.	給食の時間における指導（給食時間の指導案作成：給食の献立を活用しての指導方法と指導媒体の工夫）（グループワーク）	1～2日分の給食時間の指導案を考案する。（1h）					
	5.	学校教育活動全体で行う食に関する指導について（体制整備及び実践事例）	講義内容の復習と次回の子習。（1h）					
	6.	食に関する指導の全体計画、年間計画について	講義内容の復習と次回の子習。（1h）					
	7.	個別指導について（アレルギー、痩身肥満、偏食、運動）	講義内容の復習と給食だよりの作成。（1h）					
	8.	食育だよりの情報発信資料とその活用について（グループワーク）	作成資料の評価と次回の子習（1h）					
	9.	保護者及び地域対象の食育について	講義内容の復習と食育事例の調べ学習。（1h）					
	10.	各教科等における食に関する指導の実際（学習指導要領、教育課程等との関連）	講義内容の復習と各教科等における食に関する指導についての調べ学習。（1h）					
	11.	各教科等における食に関する指導の実際（学習指導要領、教育課程等との関連）	指導案、教材作成。（1h）					
	12.	食に関する指導の展開（指導案、教材研究を行う）	指導案、教材作成。（1h）					
	13.	食に関する指導の展開（指導案、教材研究を行う）	模擬授業の練習。（1h）					
	14.	模擬授業（研究協議）	評価とまとめ。					
15.	模擬授業（研究協議）とまとめ	評価とまとめ。						
履修条件や関連する科目等	栄養教諭は栄養士の免許の取得が条件になります。 栄養教育実習があり、実習に向けて栄養教諭実習事前、事後指導が通年にわたりあります。 教育実習後には、栄養教育実践演習を履修し、栄養教諭の実践的な学習をします。							
（テキスト）教科書	食に関する指導の手引き～第二次改訂版～文部科学省（東山書房）1,320円 教職実践演習・栄養教育実習ノート 学建書院 2,750円（税込）							
（参考資料）授業資料	食生活に関する全般図書 学習指導要領 文部科学省発行の学校給食に関する各種マニュアル 学校給食の献立集（研究室に設置） 指導案の書き方（研究室設置）							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1		20%				10%	
	到達目標 2		10%			10%	20%	
	到達目標 3				20%	10%		
	到達目標 4							
	到達目標 5							

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	指導案や教材作成については個別に対応します。 授業の初めに前回の学習内容の振り返りを行い、必要事項が身につくようにしていきます。
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	栄養教諭免許二種：栄養教諭の役割および教務内容認可する事項（必須）
学生へのメッセージその他	自身の栄養教諭としての実践を元に、具体的な事例を示していきます。目的や目標をもって授業にのぞんでください。また日頃から食育や学校現場で起きている様々な出来事についての情報に目を向けてください。この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。
ナカウチ	NTT-1-01-010

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
M6501	調理学		浜 野 香 奈					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
給食の運営	[22] 食物栄養科		1 年次	後期	2			
授業概要	<p>食材に何らかの調理操作を加えて「食べ物」とする行為は、人間だけの知恵と技術です。調理操作を行うことは嗜好性だけではなく、安全性や栄養性を高めることにつながります。食材がもつ特性について知り、調理操作を行うことで、食材そのものや栄養素におこる変化を理解しましょう。また少量調理と大量調理の違いは、給食に従事する栄養士として有するべき知識です。この科目では調理の意義や目的を踏まえた食事設計から供食にいたる一連の流れについて、科学的な知見で学修します。</p>							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	調理の理論を学ぶことにより、日常の調理操作を効率的に正しく行うことができるようになる。		○	○			
	2.	栄養教育の場で対象者の食生活改善に役立つ知識を身につける。				○		
	3.	調理の基本用語について理解し、調理の化学的根拠を説明できるようになる。		○			○	
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	オリエンテーション（授業の目的や進め方、評価方法） 調理学の基礎（調理の意義と目的、食料・環境問題など）	復習（60分）：テキストp 1～5の復習					
	2.	調理と嗜好性	予習（30分）：テキストp6～15 復習（30分）：練習問題を解く					
	3.	調理操作の理論と特性Ⅰ：非加熱調理	予習（30分）：テキストp23～36 復習（30分）：練習問題を解く					
	4.	調理操作の理論と特性Ⅱ：加熱調理	予習（30分）：テキストp37～47 復習（30分）：練習問題を解く					
	5.	調理と栄養Ⅰ：植物性食品（米・小麦・いも 他）	予習（30分）：テキストp54～69 復習（30分）：練習問題を解く					
	6.	調理と栄養Ⅱ：植物性食品（野菜・果物・種実類 他）	予習（30分）：テキストp70～79 復習（30分）：練習問題を解く					
	7.	調理と栄養Ⅲ：動物性食品（卵類・乳類）	予習（30分）：テキストp80～94 復習（30分）：練習問題を解く					
	8.	調理と栄養Ⅳ：動物性食品（食肉類）	予習（30分）：テキストp95～103 復習（30分）：練習問題を理解する					
	9.	調理と栄養Ⅴ：動物性食品（魚介類）	予習（30分）：テキストp104～114 復習（30分）：練習問題を理解する					
	10.	調理と栄養Ⅵ：油脂類・ゲル化素材・調味料 他	予習（30分）：テキストp115～128 復習（30分）：練習問題を解く					
	11.	調理による栄養学的・機能的利点	予習（30分）：テキストp129～135 復習（30分）：練習問題を解く					
	12.	食事設計の意義・内容と献立作成の実際	予習（30分）：テキストp136～151 課題：食品構成表に準じた献立作成					
	13.	供食・食卓構成・食事環境	予習（30分）：テキストp153～160 課題：まとめ学修（パワーポイント）					
	14.	授業の振り返り：アクティブラーニング（発表）	課題：発表の振り返り					
15.	まとめ 練習問題の解説など							
履修条件や関連する科目等	1年生前期での「基礎調理」、後期での「調理実習Ⅰ」において実技を学ぶのに合わせ、この科目では調理に関する知識と理論を学修します。							
（テキスト）	visual栄養学テキスト 食べ物と健康Ⅳ「調理学」～食品の調理と食事設計～ 中山書店 山崎 英恵 編（2,700円+税）							
（参考書）	<ul style="list-style-type: none"> ・「調理学の基本」第四版～おいしさと健康を目指す～ 同文書院 中嶋加代子 編（2,400円+税） ・NEW 調理と理論 同文書院 山崎清子、島田キミエ 他著（2,600円+税） 							

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	20%		5%		5%	
	到達目標 2	20%		5%		5%	
	到達目標 3	20%	10%	5%		5%	
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に授業のテキストの範囲を示しています。予習を行って授業に臨んでください。 ・ 授業内容の振り返りとして練習問題を行います。繰り返し復習してよく理解してください。 ・ 授業のまとめとしてグループワークを実施します。 授業や課題に関する質問はオフィスアワーでも対応します。月～金 16:10～17:00 (2号館2階222号室)						
法令等に定められた授業科目に含まれる必要事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養士免許取得資格：給食の運営 (必修) ・ フードスペシャリスト受験資格：調理学または調理科学に関する科目 (必修) 						
学生へのメッセージその他	<p><メッセージ> 調理操作は科学と理論に基づいています。知識を修得し、調理技術に結び付けていきましょう。 この授業は遠隔で実施される可能性があります。</p> <p><実務家教員としてのメッセージ> 特定給食施設(病院給食)の給食管理に携わってきましたが、大量調理は家庭における少量調理とはまったく異なるものであることを実感してきました。扱う食材が異なり、業務従事者が複数いるなかで標準化した食事を提供することが栄養士や調理師には求められます。調理学の基本をしっかりと身につけて、実際の調理に応用してください。</p>						
ナガワシ	EAH-1-02-010						

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
M6502	調理学		浜 野 香 奈					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
給食の運営	[22] 食物栄養科		1 年次	後期	2			
授業概要	<p>食材に何らかの調理操作を加えて「食べ物」とする行為は、人間だけの知恵と技術です。調理操作を行うことは嗜好性だけではなく、安全性や栄養性を高めることにつながります。食材がもつ特性について知り、調理操作を行うことで、食材そのものや栄養素におこる変化を理解しましょう。また少量調理と大量調理の違いは、給食に従事する栄養士として有するべき知識です。この科目では調理の意義や目的を踏まえた食事設計から供食にいたる一連の流れについて、科学的な知見で学修します。</p>							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	調理の理論を学ぶことにより、日常の調理操作を効率的に正しく行うことができるようになる。		○	○			
	2.	栄養教育の場で対象者の食生活改善に役立つ知識を身につける。				○		
	3.	調理の基本用語について理解し、調理の化学的根拠を説明できるようになる。		○			○	
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	オリエンテーション（授業の目的や進め方、評価方法） 調理学の基礎（調理の意義と目的、食料・環境問題など）	復習（60分）：テキストp 1～5の復習					
	2.	調理と嗜好性	予習（30分）：テキストp6～15 復習（30分）：練習問題を解く					
	3.	調理操作の理論と特性Ⅰ：非加熱調理	予習（30分）：テキストp23～36 復習（30分）：練習問題を解く					
	4.	調理操作の理論と特性Ⅱ：加熱調理	予習（30分）：テキストp37～47 復習（30分）：練習問題を解く					
	5.	調理と栄養Ⅰ：植物性食品（米・小麦・いも 他）	予習（30分）：テキストp54～69 復習（30分）：練習問題を解く					
	6.	調理と栄養Ⅱ：植物性食品（野菜・果物・種実類 他）	予習（30分）：テキストp70～79 復習（30分）：練習問題を解く					
	7.	調理と栄養Ⅲ：動物性食品（卵類・乳類）	予習（30分）：テキストp80～94 復習（30分）：練習問題を解く					
	8.	調理と栄養Ⅳ：動物性食品（食肉類）	予習（30分）：テキストp95～103 復習（30分）：練習問題を理解する					
	9.	調理と栄養Ⅴ：動物性食品（魚介類）	予習（30分）：テキストp104～114 復習（30分）：練習問題を理解する					
	10.	調理と栄養Ⅵ：油脂類・ゲル化素材・調味料 他	予習（30分）：テキストp115～128 復習（30分）：練習問題を解く					
	11.	調理による栄養学的・機能的利点	予習（30分）：テキストp129～135 復習（30分）：練習問題を解く					
	12.	食事設計の意義・内容と献立作成の実際	予習（30分）：テキストp136～151 課題：食品構成表に準じた献立作成					
	13.	供食・食卓構成・食事環境	予習（30分）：テキストp153～160 課題：まとめ学修（パワーポイント）					
	14.	授業の振り返り：アクティブラーニング（発表）	課題：発表の振り返り					
	15.	まとめ 練習問題の解説など						
履修条件や関連する科目等	1年生前期での「基礎調理」、後期での「調理実習Ⅰ」において実技を学ぶのに合わせ、この科目では調理に関する知識と理論を学修します。							
（テキスト）	visual栄養学テキスト 食べ物と健康Ⅳ「調理学」～食品の調理と食事設計～ 中山書店 山崎 英恵 編（2,700円+税）							
（参考書）	<ul style="list-style-type: none"> ・「調理学の基本」第四版～おいしさと健康を目指す～ 同文書院 中嶋加代子 編（2,400円+税） ・NEW 調理と理論 同文書院 山崎清子、島田キミエ 他著（2,600円+税） 							

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	20%		5%		5%	
	到達目標 2	20%		5%		5%	
	到達目標 3	20%	10%	5%		5%	
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に授業のテキストの範囲を示しています。予習を行って授業に臨んでください。 ・ 授業内容の振り返りとして練習問題を行います。繰り返し復習してよく理解してください。 ・ 授業のまとめとしてグループワークを実施します。 授業や課題に関する質問はオフィスアワーでも対応します。月～金 16:10～17:00 (2号館2階222号室)						
法令等に定められた授業科目に含まれる必要事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養士免許取得資格：給食の運営 (必修) ・ フードスペシャリスト受験資格：調理学または調理科学に関する科目 (必修) 						
学生へのメッセージその他	<p><メッセージ> 調理操作は科学と理論に基づいています。知識を修得し、調理技術に結び付けていきましょう。 この授業は遠隔で実施される可能性があります。</p> <p><実務家教員としてのメッセージ> 特定給食施設(病院給食)の給食管理に携わってきましたが、大量調理は家庭における少量調理とはまったく異なるものであることを実感してきました。扱う食材が異なり、業務従事者が複数いるなかで標準化した食事を提供することが栄養士や調理師には求められます。調理学の基本をしっかりと身につけて、実際の調理に応用してください。</p>						
ナガワシ	EAH-1-02-010						

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
60801	生物学		岡 本 昭					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
<教養科目>	[22] 食物栄養科		1 年次	前期	2			
授業概要	<p>栄養士の基礎として知っておくべき生物に関する基礎的事項を学びます。とくに我々の生活と深くかかわっている生物分野で、生物とは何かという定義を中心に、細胞の構造と機能、組織の構造と機能、物質の代謝、エネルギーの産生、免疫、遺伝のしくみ、生態系などについて学んでいきます。</p>							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	細胞、組織、遺伝のしくみ、生態系など生物学の基礎的な事項について説明できるようになる。	○					
	2.	身体の現象をを生物学の立場から説明できるようになる。			○			
	3.							
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	生物の多様性	予習：教科書（第1章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	2.	真核細胞の基本構造等	予習：教科書（第2章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	3.	体細胞分裂と減数分裂	予習：教科書（第2章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	4.	動物の受精	予習：教科書（第2章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	5.	代謝とATP	予習：教科書（第3章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	6.	光合成と呼吸	予習：教科書（第3章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	7.	体の成分と栄養素	予習：教科書（第3,4章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	8.	消化と吸収	予習：教科書（第3,4章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	9.	体内環境	予習：教科書（第5章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	10.	腎臓と肝臓	予習：教科書（第3,5章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	11.	神経とホルモンによる調整	予習：教科書（第6章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	12.	免疫	予習：教科書（第6章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	13.	遺伝の法則	予習：教科書（第7章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	14.	遺伝情報とタンパク質の合成	予習：教科書（第7章）中の重要な言葉について調べておく。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					
	15.	生物と生態系	予習：これまでの重要な言葉について再確認をする。（1時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（1時間）					

履修条件や関連する科目等	高校時代に学んだ「生物基礎」を見直しておくこと、および使用する教科書の関連個所を予習すること。関連する科目として、化学、生化学、食品学、基礎栄養学、解剖生理学、運動生理学がある。						
(テキスト)教科書	わかる生物学 小野廣紀・内藤通孝 化学同人 2014年 1,800円 (税別)						
(授業資料)参考書	プリントを授業時に配布します。プリントをきちんと整理しておくこと。 (1) 若い読者に送る美しい生物学講義 更科功 ダイアモンド社 2019年 1,600円 (税別) (2) シリーズ人体 遺伝子 健康長寿、容姿、才能まで秘密を解明! NHKスペシャル「人体」取材班 講談社 2019年 1,760円						
評価方法	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1	35%	10%			5%	
	到達目標 2	35%	10%			5%	
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	(1) 学習相談 研究室：本館405号 オフィスアワー：木曜日10：40～12：10 金曜日10：40～12：10 学習相談には、オフィスアワーおよび昼休み、放課後の時間に対応します。わからないところは質問に来てください。E-Mail等を利用した質問も受け付けます。 (2) 学習成果等のフィードバック 小テストは授業中に返却します。						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	特になし						
学生へのメッセージその他	「食」の原料は生物の生命であり、私たちは毎日、食事をして生命活動を行っています。「食」を知る上でも、栄養士が生物の基礎を学んでおくことは重要です。授業では、今後、栄養士の資格取得のための専門科目を学んでいくうえでの基礎的知識として生物学を中心としますが、公的機関の研究者として水産生物の研究に携わった経験をいかし、最新の生物の研究まで広く触れていきます。 社会的状況に応じて、Moodleを利用したオンデマンドで授業を行う場合があります。						
ナカリガ	BIO-0-01-700						

科目コード		科 目 名			担 当 教 員 名			
96401		教育課程特論			高 橋 俊 二			
科目区分		対象学科			対象学年	開講期間	単位数	
<専門科目>		[22] 専攻科 初等教育専攻			1年次	後期	2	
授業概要	<p>小学校学習指導要領・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基準として各学校（園）において編成される教育課程について、その役割・機能・意義や、学校（園）の教育実践に即した編成の方法を理解するとともに、各学校（園）の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。（グループディスカッション）</p>							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれらの関係を理解する。		○				
	2.	教育の歴史に関する基本的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。		○				
	3.	教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。			○			
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	教育課程の意義について						
	2.	教育課程の内容について	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	3.	教育課程の変遷1～戦後の社会と教育課程	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	4.	教育課程の変遷2～系統性重視、教育の現代化と教育課程	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	5.	教育課程の変遷3～人間性重視、新学力観と教育課程	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	6.	教育課程の変遷4～生きる力、確かな学力、活用能力と教育課程	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	7.	思想的な基礎としての「生活と科学」	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	8.	学力とモラル、分化と統合について	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	9.	教育課程における「履修原理」について	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	10.	教育課程の編成1～教育課程編成の構成要件	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	11.	教育課程の編成2～教育課程編成の基本原則	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	12.	教育課程の編成3～教育課程編成の展望	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	13.	教育課程の実施について	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	14.	教育課程の評価と改善について	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
	15.	カリキュラム・マネジメントの意義	配布したプリントを熟読する (0.5h)					
履修条件や関連する科目等	特になし							
(テキスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省） ・幼稚園教育要領解説（平成30年3月 文部科学省） ・幼保連携型認定こども園、保育要領解説（平成30年3月 内閣府 文部科学省 厚生労働省） 							
(参考資料)	新しい時代の教育課程（有斐閣アルマ）、授業中に適宜資料を配布する。							

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1	20%		10%		10%	
	到達目標 2	20%		10%		10%	
	到達目標 3	20%					
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー月曜日・金曜日の16:20～ 研究室23号館3階 ・試験の解答等の返却は授業の中で指示する。 						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	幼稚園・小学校教員一種免許取得のための必修科目：教育の基本理論に関する科目						
学生へのメッセージその他	<p>教育課程は学校教育の中軸となるため、しっかり受講し、積極的に学んでほしい。 小学校教員・指導主事の経験を活かし、授業では、教育課程について、その役割・機能・意義や、学校（園）の教育実践に即した編成の方法や各学校（園）の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を学びます。</p>						
ナカウチ	DID-3-01-030						

科目コード		科 目 名			担 当 教 員 名			
981A1		指導法特論（国語）			古 川 元 視			
科目区分		対象学科			対象学年	開講期間	単位数	
<専門科目>		[22] 専攻科 初等教育専攻			1年次	前期	2	
授業概要	小学校国語科の目標・内容・方法を理解する。物語教材や説明文教材を研究し、学習指導案を作成し、模擬授業をする。アクティブ・ラーニング型授業を行う。遠隔授業をmoodle（期間を決めて）やZOOM（オンタイムで）を用いて実施する場合は、事前にメールで連絡する。							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	説明文や物語の学習指導案を作成し、模擬授業ができる。		○				
	2.	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の本事案を作成することができる。		○				
	3.	ポイントシートを作成することができる。		○				
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	アクティブ・ラーニングの国語科の授業のビデオを鑑賞し、授業のイメージを持つ。（アクティブ・ラーニング）	復習：学習指導要領解説を読む。（1時間）					
	2.	説明文の教材分析をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：説明文の教材分析をする。（1時間）					
	3.	説明文教材の指導案を作成する。（アクティブ・ラーニング）	復習：指導案を作る。（1時間）					
	4.	説明文教材の発問を作る。（アクティブ・ラーニング）	復習：発問を作る。（1時間）					
	5.	説明文のポイントシートを作成する。（アクティブ・ラーニング）	復習：ポイントシートを完成する。（1時間）					
	6.	説明文の模擬授業をする。（アクティブ・ラーニング）	予習：模擬授業の練習をする。（1時間）					
	7.	物語の教材分析をする。（アクティブ・ラーニング）	復習：物語の教材分析をする。（1時間）					
	8.	物語教材の指導案を作成する。（アクティブ・ラーニング）	復習：指導案を作成する。（1時間）					
	9.	物語教材の発問を作る。（アクティブ・ラーニング）	復習：物語教材の発問を作る。（1時間）					
	10.	物語のポイントシートを作成する。（アクティブ・ラーニング）	復習：ポイントシートを完成する。（1時間）					
	11.	物語の模擬授業をする。（アクティブ・ラーニング）	予習：模擬授業の練習をする。（1時間）					
	12.	話すこと・聞くことの本時案を作る。（アクティブ・ラーニング）	復習：本時案を作成する。（1時間）					
	13.	書くことの本時案を作る。（アクティブ・ラーニング）	復習：本事案を作成する。（1時間）					
	14.	ワークシートの作成のポイントを理解する。	復習：ワークシートを作成する。（1時間）					
15.	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「書写」の学習指導案の書き方を理解する。今までの授業から、どのような力を付いたのか振り返る。（グループワーク）	予習：今までの指導案やワークシートなどを整理する。（1時間）						
履修条件や関連する科目等	国語科指導法							
（テキスト）教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領（平成29年度告示）文部科学省、217円+税 ・小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編（文部科学省：東洋館出版社）平成30年、162円+税 ・読書活動でアクティブに読む力を育てる！小学校国語科言語活動アイデア&ワーク（井上一郎編/古川元視著：明治図書）、2015年、2,260円+税 ・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント&シート 1読むこと（井上一郎著：明治図書）2021年、2,360円+税 							
（参考書）授業資料	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングをサポートする！学校図書館活用プロジェクト掲示ポスター&ポイントシート事典（井上一郎編著/古川元視著：明治図書）、2017年、2,860円+税 ・読解力を育てる！小学校国語 定番教材の発問モデル 物語編/説明文編（井上一郎編著：明治図書）、2015年、2,460円+税 ・誰もがつけたい説明力（井上一郎著：明治図書）2005年、2,160円+税 ・アクティブ・ラーニングをサポートする！小学校教室掲示ポスター&言語能力アップシート事典（井上一郎編著：明治図書）2017年、2,900円+税 ・小学校国語「汎用的能力」を高める！アクティブ・ラーニングサポートワーク（井上一郎編著：明治図書）2015年、2,700円+税 ・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント&シート 2話すこと/書くこと（井上一郎著：明治図書）2021年、2,400円+税 							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1				15%	10%	10%	
	到達目標 2				15%	10%	10%	
	到達目標 3				10%	10%	10%	
	到達目標 4							
	到達目標 5							

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・授業相談はオフィスアワー（詳細には後日連絡する）で受ける。（24号館5階509研究室） ・課題・レポートは授業の中で返却する。
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	小学校免許：幼稚園免許「教科に関する科目」
学生へのメッセージその他	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科はすべての教科の基盤となる重要な教科であり，育成すべき言語能力をよく理解するとともに，自らもその言語能力を習得するように努めること。 ・教育現場で国語の授業を行ったり，指導したりしてきたことを活かし，授業では具体的な事例を交えて講義をする。 ・遅刻，授業中の私語，飲食，携帯メール等は一切認めない。 ・欠席は必ず連絡すること。 ・提出物や資料等は必ず提出して保管すること。 ・遠隔授業の可能性がある。
ナパワグ	SUP-3-09-030

科目コード	科 目 名		担 当 教 員 名					
981B1	指導法特論（社会）		高 橋 俊 二					
科目区分	対象学科		対象学年	開講期間	単位数			
<専門科目>	[22] 専攻科 初等教育専攻		1 年次	前期	2			
授業概要	社会科の目標と内容を具体的な実践と関連させて、学習指導案を作成し、模擬授業をする。（プレゼンテーション・グループディスカッション）							
到達目標	No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	1.	小学校社会科の各学年の目標と内容を理解し、問題解決型の学習方法を理解する。		○				
	2.	学習指導要領に示された社会科の目標と内容を理解する。		○				
	3.	基礎的な学習理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。				○		
	4.							
	5.							
授業計画	No.	授 業 内 容	授業時間外学習の内容と時間					
	1.	社会科の目標と内容						
	2.	社会科の目標と指導内容の特色	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）					
	3.	公民的資質の基礎について	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）					
	4.	第3学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）					
	5.	第3学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	指導案作成と教材研究（1h）					
	6.	第4学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）					
	7.	第4学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	指導案作成と教材研究（1h）					
	8.	第5学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）					
	9.	第5学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	指導案作成と教材研究（1h）					
	10.	第6学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）					
	11.	第6学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）					
	12.	社会科の提示された資料の学習方法	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）					
	13.	歴史学習を楽しくさせる方法	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）					
	14.	社会科における教材と授業評価の視点	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）					
15.	社会科における授業評価と授業改善	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）						
履修条件や関連する科目等	特になし							
教科書	小学校学習指導要領解説 社会編（平成29年7月 文部科学省）142円+税							
参考書	小学校社会教科書、指導書							
評価方法	到達目標毎の評価方法		期末試験	小テスト	課題・レポート	発 表	授業の取組み姿勢	その他
	到達目標 1		20%				10%	
	到達目標 2		10%				10%	
	到達目標 3					50%		
	到達目標 4							
	到達目標 5							

評価基準等	
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスアワー 月曜日・金曜日の16:20～ 研究室 23号館3階 ・ 試験の返却方法は授業の中で指示する。
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	<p>小学校教員一種免許取得のための選択教科：各教科の指導法（視聴覚機器及び教材の活用を含む）</p>
学生へのメッセージその他	<p>常に、社会事象（政治・経済等）に関心を持って授業に臨むことを期待する。 小学校教員・指導主事の経験を活かし、授業では、社会科の目標と内容を具体的な実践と関連させて、学習指導案を作成の仕方や模擬授業の在り方を学びます。</p>
ナカウチ	SUP-3-10-030

科目コード		科 目 名			担 当 教 員 名					
981C1		指導法特論（算数）			三 宮 知 恭					
科目区分		対象学科			対象学年	開講期間	単位数			
<専門科目>		[22] 専攻科 初等教育専攻			1 年次	前期	2			
授業概要	算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された算数科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。									
	No.	到達目標			教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
到達目標	1.	学習指導要領に示された算数科の目標や内容を理解する。				○				
	2.	基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計及び授業実践を行う方法を身に付ける。						○		
	3.									
	4.									
	5.									
授業計画	No.	授 業 内 容			授業時間外学習の内容と時間					
	1.	算数科学習指導要領の変遷の歴史、目標及び内容について理解する。ICT機器活用の一環として「ロイロノート」の活用方法を理解し、ログインできるようになる。			テキストやプリントを熟読する（0.5h）					
	2.	大分スタンダードの授業作りと学習指導案（本時案）の作成の仕方			テキストやプリントを熟読する（0.5h）					
	3.	算数科（A領域：例 低学年）目標及び内容の理解、教科書研究			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	4.	算数科（A領域：例 低学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	5.	算数科（A領域：例 低学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価			指導案作成、教具等の準備（1h） 板書指導案の作成・見直し					
	6.	算数科（B領域：例 高学年）目標及び内容の理解、教科書研究			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	7.	算数科（B領域：例 高学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	8.	算数科（B領域：例 高学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価			指導案作成、教具等の準備（1h） 板書指導案の作成・見直し					
	9.	算数科（C領域：例 中学年）目標及び内容の理解、教科書研究			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	10.	算数科（C領域：例 中学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	11.	算数科（C領域：例 中学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価			指導案作成、教具等の準備（1h） 板書指導案の作成・見直し					
	12.	算数科（D領域：例 高学年）目標及び内容の理解、教科書研究			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	13.	算数科（D領域：例 高学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成			テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し					
	14.	算数科（D領域：例 高学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価			指導案作成、教具等の準備（1h）					
15.	まとめ・模擬授業の改善案作成			これまでのテキストやプリントを熟読する（0.5h） 学習指導案の修正						
履修条件や関連する科目等	特になし									
（テキスト）教科書	小学校学習指導要領解説 算数編（平成29年7月 文部科学省） 小学校算数教科書（啓林館）全学年全巻を購入しておく方が望ましい。									
（参考書）授業資料	必要に応じて印刷または情報提供する									

	到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
評価方法	到達目標 1			25%	10%	15%	
	到達目標 2			25%	10%	15%	
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
評価基準等							
学習相談及び学習成果のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスアワー ・ 授業時間後随時 ・ 期末試験の返却については、授業で提示します。 						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）						
学生へのメッセージその他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年にわたる教育現場における様々な経験を活かし、算数科における教育目標、授業計画等について講義を行います。 ・ 自分が小学校や幼稚園の教諭になったときのことをイメージして積極的に授業に臨むこと。 ・ 遠隔授業になる場合もあります。その場合は、「オンデマンド授業」として、moodle上に読み物や動画の学修資料を用意し、それに対する課題シートに解答・回答し、提出することになります。 						
ナガワシ	SUP-3-11-030						